米沢興譲館同窓会会報

第28号
発行／平成11年8月7日
米沢興譲館同窓会
会報　編集委員会
当会報の題字は、第19号から奥山徹石氏（昭和28年卒）の揮毫によるものです。

五一会（昭18卒）制作の興譲館『思索の森』にて／皆さんの学年の記念植樹をお待ちしています。

「連綿尽きぬ興譲の心」

平成十一年度同窓会・懇親会
実行委員長　前山亮一
（昭和三十九年卒）

上杉鷹山公の敬師、細井平洲先生をお迎えし、興譲館を開学して三百年、連綿と興譲館魂は受け継がれてまいりました。二十一世紀を前に、更なる興譲館精神の継承とその高揚を願って、テーマを「連綿尽きぬ興譲の心」と題し、今年の同窓会総会、懇親会を開催いたします。

今年は、昭和三十九年卒業を筆頭学年とし、四十三年、四十八年、五十四年、五十九年卒業の当番学年が、一致団結して準備を進めて参りました。同窓生が一堂に会し、青春時代を思い起こし、なつかしくも、なごやかな雰囲気でひとときを過ごしていただきたいと思います。また、この同窓会は、興譲館精神を、先輩から後輩へ、語り継がれる出逢いの場として絶好の機会でもあります。大いに盛りあがることと確信しております。多くの同窓生の皆様のご参加をお願いいたします。

尚、九月二十日（月）、記念式典後の記念講演会は、同窓生の加藤國雄君（三十九年卒、野村アセット・マネジメント投信㈱取締役）が熱弁を奮います。彼は二十一世紀にむけての情報技術や、社会ビジネスのあり方などの変化を、グローバルな視野から、将来を担う後輩に伝えてくれるものと思います。ぜひ同窓生の皆様も御拝聴頂きたく重ねてご案内申し上げます。

三百年記念事業に一層のご協力を

同窓会長　川野　希

一年に一度、新旧の同窓生が一堂に会する総会・懇親会の日が近づいて参りました。今年も当番学年のご尽力のもと、にぎやかな一夕を過ごせるようご協力をお願いします。

昨年は、記念式典をはじめ藩学創設三百年を祝う様々な行事が行われた記念すべき年でした。どの行事も皆様の温かいご協力により、楽しく盛大に終了できましたことに、改めて感謝申しあげます。

記念事業も、いよいよメインの記念講堂建設を残すばかりになりました。すでに一部設計の手直しも完了し、確認申請の段階まで来ております。しかし、募金の方がまだ予定どおりに進んでおりません。同窓生の皆様を中心に各方面のご援助をいただいて、総額においては七割の達成を見ておりますが、肝心の卒業生年次寄付はようやく五割を超えたところです。この見通しが立たないことには、安心して建築実施のゴーサインが出せません。今後、各位の一層のご協力をお願いする次第です。そして、当初の計画どおり、来年にはぜひ落成を実現させたいものです。そのためには、出さなくてもそのうち募金も終るだろうという安易な考え方をなくし、みんなで作った目標はみんなで守る、年次目標は最後まで達成させるという確認をしたいものです。

さて、同窓会各支部総会、各学年の集い等は、例年にも増してそれぞれ活発に開催されましたことはご同慶の至りです。今後とも、会員の親睦を図り、母校の発展に寄与するという目的にふさわしい活動をお願いします。

東京支部での集い

米沢興譲館同窓会

平成十一年度総会・大懇親会ご案内

一、日時　平成十一年九月二十日（月曜日）
二、会場　グランドホクヨウ（市内金池二丁目）
三、日程　①総　会　午後四時
　　②懇親会　午後五時三十分から

※対高校教職員との親善野球試合　午後一時から

米沢興譲館同窓会長　川野　希
平成十一年度同窓会・懇親会実行委員長　前山亮一（昭39年卒）

米沢興譲館高等学校

記念式典・記念講演ご案内

一、日時　平成十一年九月二十日（月曜日）
二、会場　米沢興譲館高等学校　体育館
三、日程　①記念式典　午前九時から
　　②記念講演　午前十時四十分から
　　演題「パラダイムシフト―変化とともに生きる」
　　加藤國雄氏（昭39年卒）
　　野村アセット・マネジメント投信株式会社
　　オフィサー（役員待遇）兼システム開発部長

心ときめく体験を――。

学校長　巻　久

同窓会の皆様方にはいつもご支援を賜りまして感謝申し上げます。特に昨年度は、藩学創設三百年記念事業の一環として、記念講演やコンサートを行い、お力添えいただいた財源の一部をこのために活用させていただきました。心の教育、感性を育む教育を充実させることができて喜んでおります。厚くお礼申し上げます。

本年度、山形県庁支部及び東京支部の総会に参加する機会がありました。どの支部においてもそうですが、閉会行事はきまって校歌で締めくくるのが恒例となっております。

興譲中学校校旗、興譲館高校校旗を正面に掲げ、高らかに流れる校歌の調べは誠に格調が高く、いつも胸が熱くなる思いをしているところです。高校時代のことがいついつまでも心に強く焼き付けられている事実にふれるにつけ、高校教育の重要性を痛感しているところです。

そのためにも、六八九名（うち、二九六名が女子）の生徒諸君に、いかに心ときめく経験をさせるかが決め手であると思っております。

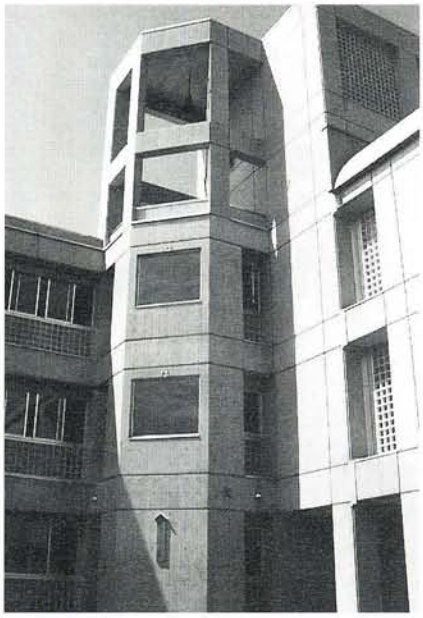
その第一として上げたいことは学力の充実であります。入学時の成績からみて、少々不安があった三年生に復活の兆しが見られ、この夏季休業期間中は多くの者が登校して本格的に受験勉強を開始することになります。特に、十月前後からの追い込みには目を見張るものがあり、この時期には、例外なく一人一人の生徒に逞しさと力強さが加わってきます。希望する進路が達成するよう、厳しい指導が必要であると思っております。

部活動の方では、陸上競技部（三段跳びと五千メートル競歩）が一六年ぶりにインターハイに出場することが特筆すべきことです。現在、強化合宿に参加しております。

また、二学年の東吾妻登山では、従前は白浜で引き返しておりましたが、これを改め、山頂まで登ることを計画して実施したのは十年ぶりのことです。紺碧に輝く五色沼を見たときの感激は永久に心の底に刻み込まれるものと信じております。

今朝（七月二十一日）はまた、昨年度に引き続いて全校応援体制を敷いて野球大会（第三回戦、鶴商学園高校）に臨む予定でおりましたが、雨のため順延となり、山形から引き返してきたところです。野球大会の応援は学校が一丸となって燃える絶好の機会であると位置づけております。応援団活動の活性化もまた一つの課題です。昨今、学校によっては応援団幹事に立候補する生徒がいなくなり、校歌や応援歌の指導もままならない状況が生まれてきております。本校ではなんとか応援団活動が続いておりますが十分とはいえません。昨年より積極さが出てきておりますので、入学生に対する指導をはじめ、壮行式や野球応援、学年集会における指導など、生徒に活躍の機会を積極的に与えたいと考えております。

本校のような学校にあっては、点数や偏差値だけが重視されがちでありますが、それだけではなく、二十一世紀における生徒の活躍を視野に入れて運営に努めたいと存じます。同窓会の皆様方には、今後とも暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。


興譲の鐘

藩学創設三百年記念事業実行委員会より

ご協力に感謝　もうひとふんばり

記念事業がスタートして三年目を迎えた。昨秋までに記念誌発刊・記念行事が終了したが、その概要は次の通り。

◇記念誌発行（十年九月）

「興譲館人国記」として、前会長松野良寅氏が殆ど執筆され、在校生・記念式典来賓・役員に配付。同窓生には三千円で頒布。

◇記念行事

○記念式典

（十年九月二十一日）体育館

式典終了後、「興譲館三百年のあゆみ」のスライド上映

○記念講演（同日）体育館

三十八年卒東北大助教授

高橋　礼二郎　氏

「学ぶこととは何か」

○祝賀昼食会（同日）

大多目的教室

○ライブ興譲（同日）

市民文化会館

五十六年卒青柳陽子氏。リチャードパイン&カンパニーとの共演。

○同窓会総会・懇親会（同日）

グランドホクヨウ

○マラソン大会

（十年九月二十二日）

記念マラソンとして、同窓生も参加。

大平折返しのコース。

○記念講演　市民文化会館

（十年九月二十三日）

脚本家ジェームス・三木氏による「鷹山公の人づくりにかけた戦略」

○記念コンサート（同日）

市民文化会館

四十八年卒松倉とし子氏と山形交響楽団によるジョイント・コンサート。

チャイコフスキー

「交響曲第五番」

○パネル展

（十年九月十八日～二十三日）

ポポロ・米沢市民ギャラリー

「興譲館三百年のあゆみ」として柿崎則夫教諭中心に作成したパネルと県立博物館展示の「藩校・武士の学校・江戸の学問」より借用した資料を展示。これらは何れも、生徒・教職員・同窓生・父兄等多数の協力により大成功であった。

◇記念講堂建設

さて、残る事業がメインの記念講堂建設である。

すでに前号で概要をお知らせしたが、その後、興譲館三百年の伝統にふさわしいものとの見地から、予算は元通りの範囲で、一部設計の手直しをすることになり、図のようなものに変更した。

建築確認の申請をし、八月中には許可がおりる予定である。募金の目途が立ち次第、着工にかかることになる。

◇募金状況

各年次代表のご努力により、現在まで十六学年が目標を突破した。しかし、全体的には五割を超えたところで、特に若い卒業生諸君の動きがまだまだ不十分である。

経済情勢も明るい展望の開けない時であり、目標達成は大変であろうが、今後の興譲館の姿を見据え、当初の目的実現に向けて、更なるお力添えをいただきたいものである。

学年別寄付申込状況

（平成11年7月1日現在）

申込金額	卒業学年
300万円～	25 26 27 29 31 32 34 36 37 38 42
200万円～	19 20後 21・22 23・24 28 30 33 44 48
150万円～	11 18 20前 41 51
100万円～	13 15 16 35 39 40 43 47
50万円～	14 17 45 46 52 55 定時制
～49万円	5 6 9 10 12 49 53 54 56 57 58 59 60 61 62 63 平3 平5
集約なし	50 平1 平2 平4 平6以降

印　募金目標達成

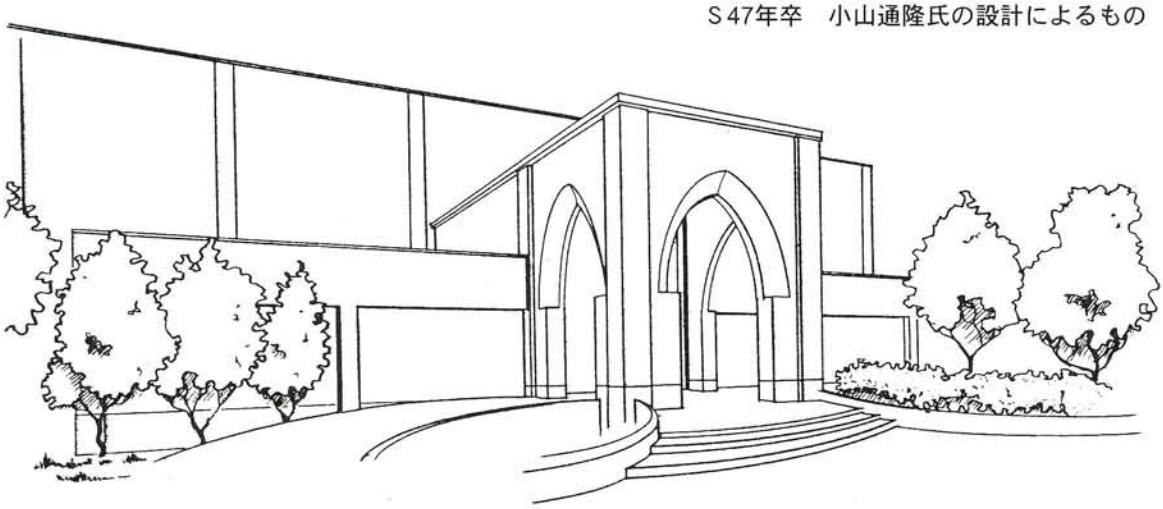
年次募金目標		
	17以前	100万以上
	18～22	240万以上(300万目標)
	23～63 定時制(全学年)	300万
	平成以降	100万目標

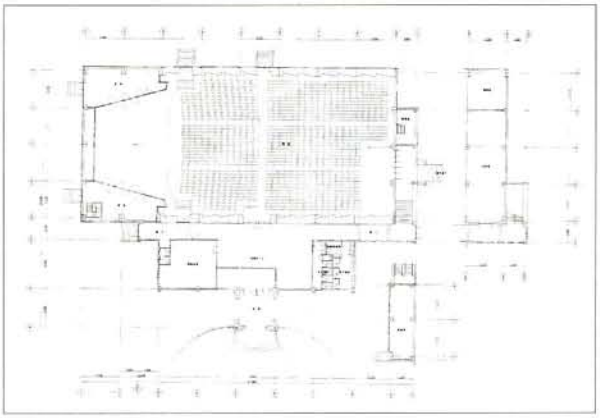
藩学創設300年記念事業寄付金状況

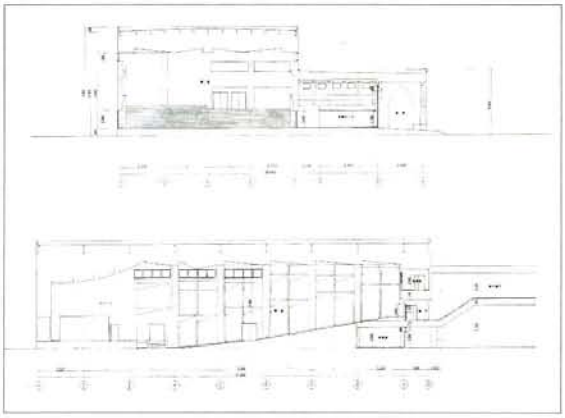
（平成11年7月1日現在）

寄付金種別	目標	件数	申込金額	達成率
	千円		千円	%
同窓生	150,000	2,756	82,251	54.8
篤志	75,000	75	51,880	69.1
協力団体	168,000	8	173,107	103.0
現旧教職員	5,000	158	6,000	120.0
雑収入	2,000	19	1,398	69.9
合計	400,000		314,636	78.6

S47年卒　小山通隆氏の設計によるもの







「二六会」目標を達成して

昭和二〇年四月、旧県立米沢興譲館中学校入学、同時に勤労奉仕作業、農家の者は自家の仕事を、それ以外は疎開組を含めて米沢近郊から中郡あたりまでの農家に配置されての農作業の手伝い。同年八月敗戦。昭和二二年四月、現米沢東高校火災。ために、廃墟になった興譲館中学校の寄宿舎（現アクティー米沢の南側あたりにあった）が解体されて東高に移転。その跡地をクラス単位に区分けして夏休み中にクラス毎整地をすること。モッコ（藁縄を編んで作った砂利運搬用の網状のもの）だけは学校で用意する。スコップ、トウグワ、ツルハシの類はクラス持参、作業日時はクラス毎決定という条件の作業だった。今考えると不思議なくらいみんな集まって汗を流した。やがてそこがテニスコートになった。大小さまざま、いいこともわるいこともみんなでやった。

それが今もって続いている同期会、母校愛の土台なのかも知れない。一人原則三万円、郵便による三波の依頼、結局この四月初め漸く百余名から三百余万円の拠出で目標達成となった。その中には中学三年終了後他所、他校へ転住、転校した仲間、三回分納の初回納入直後に他界した仲間、三回目分の納入が遅くなって済まなかったと言いつつ息を引き取った仲間もいた。同期会事務局としては感涙に咽ぶばかりの協力に唯々感謝あるのみだった。あとはいつになったら「講堂が形になるのか」がもっぱらの声である。藩校未だ健在の証を早く同期生みんなに報告してやりたい。

（本間和夫　記）

平成9年度　同窓会決算書

（平成9年9月1日より平成10年8月31日まで）

収　入

（単位：円）

項　目	予算額	収入済額	増減（△）	備　考
繰越金	59,228	59,228	0	
入会金	1,673,000	1,659,000	△ 14,000	7,000円×237名
年会費	2,250,000	1,576,000	△ 674,000	
過年度会費	500,000	349,000	△ 151,000	過年度会費未納分
雑収入	772	1,658	886	預金利子
計	4,483,000	3,644,886	△ 838,114	

支　出

（単位：円）

項　目	予算額	支出済額	増減（△）	備　考
（運営費）	(1,420,000)	(1,179,690)	(△ 240,310)	
会議費	120,000	58,609	△ 61,391	会議費補助
通信連絡費	100,000	38,880	△ 61,120	通信費
需用費	200,000	82,201	△ 117,799	事務経費・他
人件費	1,000,000	1,000,000	0	人件費等
（事業費）	(2,520,000)	(1,934,267)	(△ 585,733)	
一般事業費	1,900,000	1,334,267	△ 565,733	各支部総会（旅費・お祝）送料
卒業記念費	250,000	240,000	△ 10,000	書籍『我妻栄一人と時代』
表彰費	30,000	20,000	△ 10,000	記念品代（2名）
会報費	340,000	340,000	0	第27号 10,000部
（予備費）	(543,000)	(209,000)	(△ 334,000)	
予備費	543,000	209,000	△ 334,000	過納会費引き当て金
計	4,483,000	3,322,957	△1,160,043	

決算額

収入済額　3,644,886円 ― 支出済額　3,322,957円

＝　残額　321,929円

（次年度へ繰り越し）

参考	年会費預かり状況（単位：千円）												
年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	計
金額	502	371	215	130	93	54	35	26	18	9	4	4	1461

◎置賜地区県職員同窓会
連絡先　〒992-0012　米沢市金池東南置賜合同庁舎
☎0238（24）2311
支部長
幹事長　高橋恵史

◎高畠支部
支部長　登坂捷一
〒992-0351　東置賜郡高畠町高畠2152-23
☎0238（52）0017
副支部長　梅津伊兵衛・星　寛治
幹事長　鈴木征治
事務局長　連絡先　金田成康　高畠町役場内
☎0238（52）1111

◎赤湯支部
支部長　須藤清次　〒999-2211　南陽市赤湯3005
☎0238（43）6111
副支部長　伊藤幸太・外山善夫
事務局長　連絡先　高橋順一
〒999-2231　南陽市二色根76-1

◎宮内支部　連絡先　〒992-0472　南陽市宮内3010-10
吉田文雄　☎0238（47）2706
支部長　佐藤　稔
副支部長　川合悌次郎・星　清一
幹事長　吉田文雄
監事　高橋正夫

◎川西支部　連絡先　〒992-0121 東置賜郡川西町上小松
川西町役場　猪狩文昭　☎0238（42）2111
支部長　遠藤忠志
〒992-0213　東置賜郡川西町尾長島1211
☎0238（42）4121
副支部長　鈴木　弘
監事　船山昭司・嶋津憲英
幹事長　猪狩文昭
事務局長　島貫啓一・後藤哲雄・大友勝治

◎長井西置賜支部
連絡先　〒993-0011　長井市館町北6-16
市民会館前　渡部秀一司法書士事務所
☎0238（84）2368　FAX 0238（84）2373
支部長　外田　陽　〒993-0084　長井市栄町11-17
☎0238（84）2004
副支部長　井上俊雄・芳賀康雄
代表幹事　今井慎吾
事務局長　渡部秀一

◎小国支部
連絡先
支部長　高井朋次
〒992-1203　西置賜郡小国町市野々389
☎0238（65）2006
副支部長　阿部　正・木村信夫
幹事長　渡部君夫

◇興譲館同窓会校内役員
理事　小野隆夫（教頭）・島貫祐輔・管　弘
本間　精・樋口　隆
幹事　岸　順一・鑓水武夫

平成10年度　同窓会予算書

（平成10年9月1日より平成11年8月31日まで）

収入

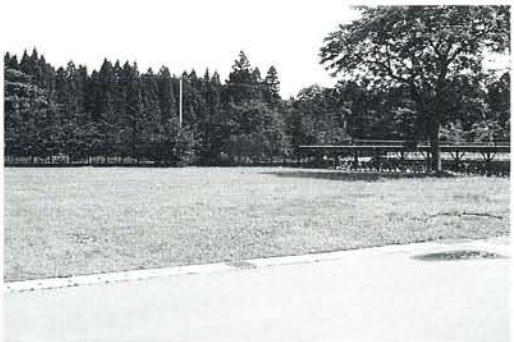
（単位：円）

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
繰越金	321,929	59,228	262,701	前年度繰越金
入会金	1,624,000	1,673,000	△ 49,000	232名×7,000円
年会費	2,250,000	2,250,000	0	昭25年～昭63年まで 50,000円×39学年 昭24年～昭14年まで 30,000円×10学年
過年度会費	500,000	500,000	0	過年度会費未納金
雑収入	1,071	772	299	預金利子
計	4,697,000	4,483,000	214,000	

支出

（単位：円）

項目	予算額	決算額	比較増減(△)	備考
(運営費)	(1,420,000)	(1,420,000)	(0)	
会議費	120,000	120,000	0	役員会等
通信連絡費	100,000	100,000	0	郵便切手
需用費	200,000	200,000	0	慶弔・転退職者餞別・消耗品
人件費	1,000,000	1,000,000	0	人件費等
(事業費)	(2,550,000)	(2,520,000)	(30,000)	
一般事業費	1,900,000	1,900,000	0	各支部総会（お祝い・旅費）会報送料
卒業記念費	250,000	250,000	0	記念品代
表彰費	50,000	30,000	20,000	永年勤続者(5名)
会報費	350,000	340,000	10,000	印刷代
(予備費)	(727,000)	(543,000)	(184,000)	
予備費	727,000	543,000	184,000	過納会費返済のため
計	4,697,000	4,483,000	214,000	



記念講堂建設予定地

米沢興譲館同窓会支部役員

◎米沢支部　連絡先　〒992-1443　米沢市大字笹野1101
米沢興譲館高等学校　☎0238（38）4741
支部長　高橋忠蔵
副支部長　相田英一・大友恒則
監事　奥山　徹・安達治雄
幹事長　小関　薫
事務局長　遠藤岩根

◎東京支部
支部長　磯貝昌弘
副支部長　後藤主計・月生田健
幹事長　吉田仁志
副幹事長　板垣昭次・五雲寺卓・川井陽一
本川　裕・大浦顕逸
連絡先　〒120-0002　東京都足立区中川4-8-11-101
㈱ハナマル（吉田仁志）
☎03（3606）6101（FAX共）

◎関西支部
支部長　斎藤秀吉
副支部長　山本三郎・大石　彰・川合雄介
幹事長　大槻正重
事務局　連絡先　勝見哲朗
〒537-0011　大阪市東成区東今里2-15-30
サン美術印刷㈱　☎06（976）0231

◎宮城支部
支部長　中條　仁
副支部長　芳賀滋弥・和田美知子
幹事　林一郎・小林令児・矢尾板範子・香坂昌紀
大武清夫・小関隆久・金子謙一・猪俣良市
御供政敏・森下和夫・高橋芳彦・鈴木利実
連絡先　〒983-0862　仙台市宮城野区二十人町6
☎022（291）5372（中條　仁）

◎山形支部
支部長　高野健男　〒990-2401　山形市平清水75-9
☎023（622）1657
副支部長　高橋淳一・堤　孝雄・斉藤　真
幹事長　二瓶　功
副幹事長　船山光文・安部　敏
監事　安藤隆夫・岩沼　甫
事務局　〒990-0041　山形市緑町1-2-40
☎023（642）2538

◎山形県庁教育委員会職員同窓会
会長　佐々木洋治　〒990-0826　山形市霞城1-8
山形県立博物館　☎023（645）1111
副会長　佐藤英治・高橋　潔
幹事長　斎藤忠男
幹事長代理　鈴木敬次
幹事　若月雅博・菅野亮一・玉木康雄・倉嶋　尚
井上元治・酒井俊英・小野庄士・佐藤大顕
小関敏彦・高橋礼二

＝母校だより＝

島貫祐輔

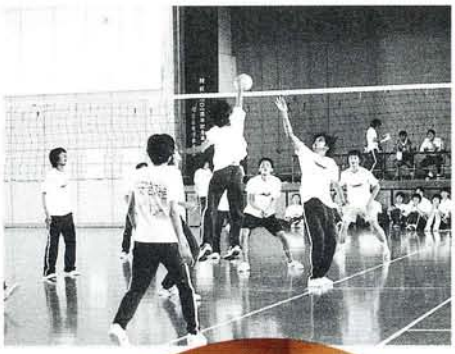
学期末考査も終り「さあ、次はクラスマッチ！」。中には一ケ月も前から朝練習に取りくむクラス（チーム）もあった。

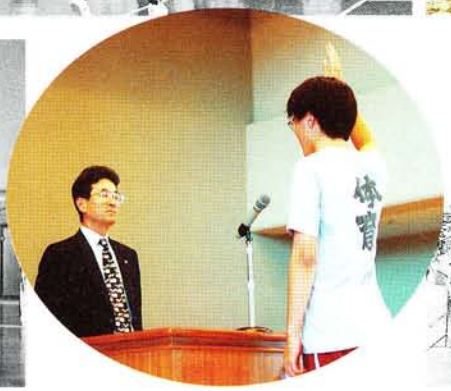
今年は空梅雨でサッカーやソフトボール種目には好コンディションを予想していたが、大会に合わせたように本格的な雨が続いてしまった。

クラスマッチといえば、変遷はあったにしても、随分以前からの伝統行事であり、その時々に同窓先輩達も汗を流し、燃えに燃えた思い出をもっておられる方も多いことと思います。

近年、学校生活も変容しつつある部分も多いが、クラスマッチでの感動シーンは毎年同じようにくり返されています。特に今年は、汗と涙に加えサッカーについては男女共泥まみれの熱戦が展開され大いに盛りあがりました。

間もなく梅雨も明け、野球応援・夏季講習・部活合宿等々が続く暑い夏がやってきます。





宮城支部だより

米沢興譲館同窓会
宮城支部長　中條　仁

宮城支部では毎年秋、支部総会を開催し同窓会長はじめ校長、役員の方々をお招きして同窓会の事業や学校の現況等をお聞きし、また講師を招いて記念講演会を催すことを恒例としております。平成十年度は、昨年十一月二十八日、川野会長と巻校長にご来駕頂き、学生を交えて五十名ほど出席しました。記念講演は当地でも関心事である首都移転問題について、宮城県の担当職員に講演をして頂きました。

現在支部会員は約三九〇名で、毎年会員名簿を作製し出席者に配布しておりますが、会員の出入が多く、確認作業が困難であります。会員の異動をお知らせ頂くと大変助かります。

講堂の建設資金を支部にも割り当てられておりますものの、宮城県には有力なオーナーも少なく、苦慮しているところであります。

仙台青葉城にある政宗銅像